

経営比較分析表

福島県 西郷村

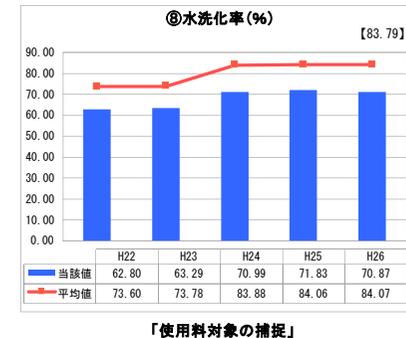
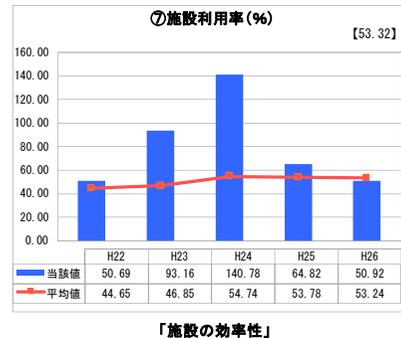
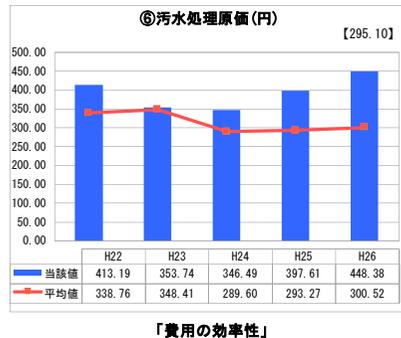
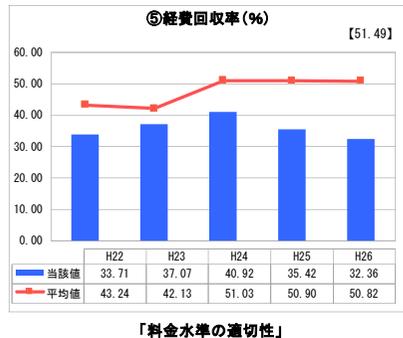
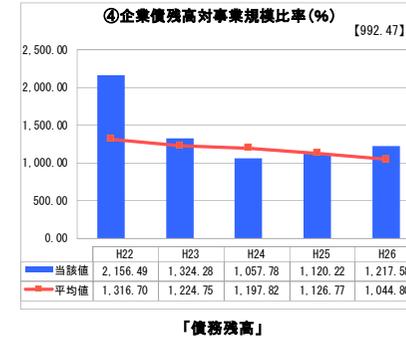
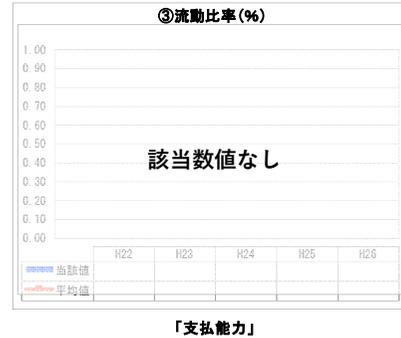
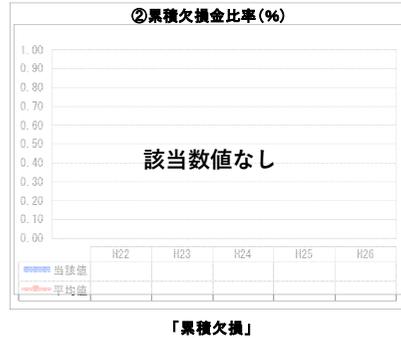
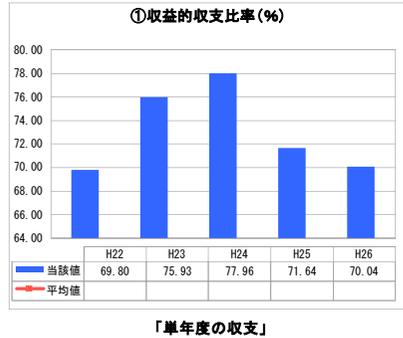
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	16.39	90.09	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,959	192.06	103.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,261	5.22	624.71

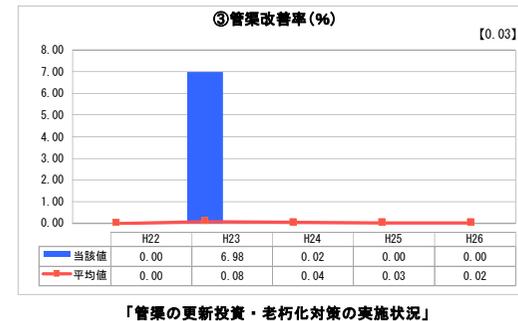
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、おおそ70%程度で推移しているが下降気味である。企業債残高対事業規模比較率も高く、債務残高が経営を圧迫している。経費回収率及び汚水処理原価も、全体的に類似団体平均値を下回ってしまっている。水洗化率も横這いで伸び悩んでおり、やはり他団体よりも低い値である。現状を打開するためにも、地元住民への働きかけ等を再度積極的にを行い水洗化率を向上させ、維持管理費用の見直し等も行い、経営改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率に関しては、類似団体平均値もほぼ同様の値だが、平成23年の東日本大震災に伴う突発的なものを除き例年ほぼ0%である。平成28年度より機能強化事業を開始するため、老朽化する施設の維持管理や修繕等を計画的に行っていきたい。

全体総括

類似団体と比較しても、経営状況は芳しくない。財源を確保し管渠の老朽化対策に着手するためにも、経営改善を図るため、接続率・経費回収率を向上させ、経営効率を上げる必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。